



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年10月31日

上場会社名 エバラ食品工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2819 URL http://www.ebarafoods.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮崎 遵
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 高井 孝佳 TEL 045-314-0121
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	25,293	3.4	1,222	17.9	1,194	15.5	642	19.9
25年3月期第2四半期	24,463	△5.4	1,037	△40.9	1,034	△42.0	536	△45.1

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 722百万円 (41.3%) 25年3月期第2四半期 511百万円 (△49.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	70.27	—
25年3月期第2四半期	50.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	30,746	18,207	59.2	1,991.27
25年3月期	28,952	17,734	61.3	1,939.22

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 18,207百万円 25年3月期 17,734百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	27.00	27.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	3.2	1,560	10.5	1,500	4.8	739	0.9	80.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	12,398,400株	25年3月期	12,398,400株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	3,254,630株	25年3月期	3,253,249株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	9,144,314株	25年3月期2Q	10,609,085株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P. 3

「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年9月30日）におけるわが国経済は、金融緩和等の各種政策を背景に景況感は緩やかに改善されつつありますが、消費税増税による将来的な影響や所得環境の不安、日用品の値上げ等もあり、消費マインドの回復は依然として先行き不透明な状況にあります。食品業界におきましても、消費者の生活防衛意識や節約志向は依然として根強く、また、消費者ニーズも多様化しており、難しい経営環境が続いております。

当社グループは、エバラブランドの目指す姿である「新しいおいしさにより、そこに人が集い、笑顔が生まれる」の実現に向け、“たれ・素・スープ”を中心とした調味料でお客様との幅広い接点を持ち、家族の“絆づくり”やお客様のお役立ちを創造することをミッションとして経営を推進しております。当第2四半期連結累計期間においては、フェイスブックや会員制サイトのエバラClub等を活用し、より多くのお客様とのコミュニケーションを促進するとともに、肉の効能に関する啓蒙や「肉1tプレゼントキャンペーン」を展開する等、精肉需要全体の底上げを図り、また、発売35周年を迎えた『黄金の味』の活性化や既存商品の汎用性訴求、モザイク模様の消費者ニーズに対する商品開発等を進めることで、エバラブランドの価値向上を図ってまいりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、252億93百万円（前年同期比3.4%増）となりました。その主な要因としては、『にんにくのたれ』やメニュー専用調味料の『生姜焼のたれ』等が売上を伸ばし、また、8月に発売した『プチッと鍋』が好調なスタートを切ったこと、さらに、その他事業が好調に推移したことが挙げられます。利益面につきましては、売上高の増加に加え、売上原価率及び販管費率を前年同期水準以下に抑えたことにより、営業利益は12億22百万円（前年同期比17.9%増）、経常利益は11億94百万円（前年同期比15.5%増）、四半期純利益は6億42百万円（前年同期比19.9%増）となりました。

事業におけるセグメントの概況は、以下のとおりであります。

(食品事業)

家庭用商品は前年同期売上高を上回りました。

肉まわり調味料群につきましては、好調な精肉需要を背景に、ラインナップを強化した『焼肉のたれ』やプロモーションで使用機会を広げた『黄金の味』が底堅く推移したほか、『おろしのたれ』とともに父の日のキャンペーンで肉料理の定着化に取り組んだ『にんにくのたれ』が好調な売上を見せました。また、統一ブランド「たれプラス」を導入し、『生姜焼のたれ』等、簡単便利に料理の幅を広げられるメニュー専用調味料がラインナップを充実させて伸ばした結果、前年同期実績を上回りました。鍋物調味料群につきましては、引き続き汎用調味料としての利用価値を高めた『すき焼のたれ』が堅調に推移したことに加え、1人前から家族で囲むごちそう鍋まで、いろいろなシーンに対応できるポーショントップの新商品『プチッと鍋』が好調な滑り出しを見せた結果、前年同期実績を上回りました。野菜まわり調味料群につきましては、第2四半期における野菜価格の高騰が大きく影響した結果、前年同期実績を下回り、『浅漬けの素』も前年同期の水準にとどまりました。その他群につきましては、『横濱舶来亭カレーフレーク』が営業強化により売上を伸ばしたものの、他の商品が伸び悩み、前年同期実績を下回りました。

業務用商品につきましては、営業活動の強化が奏功したことに加え、肉まわり調味料群が消費者ニーズを捉えた新商品投入により売上を伸ばしたほか、スープ群も好調を維持し、その他群についても特注品の増加等により伸ばした結果、前年同期売上高を上回りました。

以上の結果、食品事業の売上高は223億89百万円（前年同期比3.0%増）となりました。

(その他事業)

その他事業につきましては、既存顧客を中心に受注を伸ばした広告宣伝事業が前年同期実績を上回り、物流事業においても、積極的な営業活動により新規受注を獲得する等、前年同期実績を上回る好調な売上推移となりました。また、人材派遣事業においても、新規事業の取り組みが奏功したことにより前年同期実績を上回った結果、その他事業の売上高は29億4百万円（前年同期比6.4%増）となりました。

売上高の内訳は以下のとおりとなります。

事業名称及び商品群名	前第2四半期連結累計期間 (百万円)	当第2四半期連結累計期間 (百万円)	増減率 (%)
食品事業	21,732	22,389	3.0
家庭用商品	17,356	17,864	2.9
肉まわり調味料群	9,687	10,071	4.0
鍋物調味料群	3,589	3,798	5.8
野菜まわり調味料群	3,407	3,330	△2.3
その他群	671	664	△1.1
業務用商品	4,376	4,525	3.4
肉まわり調味料群	1,434	1,497	4.3
スープ群	1,698	1,734	2.1
その他群	1,243	1,293	4.1
その他事業（広告宣伝事業、物流事業、人材派遣事業）	2,730	2,904	6.4

(注) 上記金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比し17億94百万円増加して307億46百万円となりました。これは主に、現金及び預金が16億10百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ13億21百万円増加して125億38百万円となりました。これは主に、未払法人税等が4億39百万円、支払手形及び買掛金が3億93百万円増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、4億73百万円増加して182億7百万円となりました。これは主に、利益剰余金が3億95百万円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ17億97百万円増加し、55億9百万円となりました。

当第2四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、22億16百万円（前年同四半期は11億76百万円の使用）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益11億92百万円を計上し、仕入債務の増加額が3億90百万円であったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1億86百万円（前年同四半期は2億35百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出4億1百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、2億48百万円（前年同四半期は2億85百万円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払額2億46百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(表示方法の変更)

従来、「受取賃貸料」に対応する費用については、「売上原価」に含めて表示しておりましたが、重要性の観点から第1四半期連結会計期間より、営業外費用に「賃貸収入原価」として表示する方法に変更しております。

これは、当社グループの事業運営の実態をより適切に表示するために行ったものであります。

この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「売上原価」で表示していた6,994千円を営業外費用の「賃貸収入原価」に組み替えております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,333,854	5,944,133
受取手形及び売掛金	9,311,308	9,157,462
有価証券	350,249	—
商品及び製品	1,338,793	1,412,021
原材料及び貯蔵品	520,692	549,666
繰延税金資産	384,979	385,365
その他	565,528	742,939
貸倒引当金	△470	△376
流動資産合計	16,804,937	18,191,212
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,008,831	3,008,831
その他(純額)	5,153,870	5,282,084
有形固定資産合計	8,162,702	8,290,915
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	2,064,994	2,121,203
長期貸付金	44,784	181,541
繰延税金資産	884,553	884,894
その他	685,304	772,539
貸倒引当金	△45,757	△46,459
投資その他の資産合計	3,633,878	3,913,721
固定資産合計	12,147,075	12,555,180
資産合計	28,952,013	30,746,392

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,113,417	5,507,083
短期借入金	166,404	166,400
未払金	1,655,832	1,899,892
未払法人税等	110,949	550,336
賞与引当金	284,962	318,709
販売促進引当金	534,771	606,753
その他	363,649	367,095
流動負債合計	8,229,986	9,416,271
固定負債		
退職給付引当金	2,757,633	2,896,757
資産除去債務	11,725	11,807
その他	218,241	213,883
固定負債合計	2,987,601	3,122,448
負債合計	11,217,587	12,538,719
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,387,136	1,387,136
資本剰余金	1,655,257	1,655,257
利益剰余金	18,312,335	18,707,991
自己株式	△3,925,336	△3,927,401
株主資本合計	17,429,391	17,822,983
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	283,446	282,747
為替換算調整勘定	21,587	101,942
その他の包括利益累計額合計	305,034	384,689
純資産合計	17,734,426	18,207,673
負債純資産合計	28,952,013	30,746,392

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	24,463,663	25,293,955
売上原価	12,324,950	12,728,574
売上総利益	12,138,713	12,565,380
販売費及び一般管理費	11,101,492	11,342,878
営業利益	1,037,220	1,222,502
営業外収益		
受取利息	6,297	5,920
受取配当金	16,839	18,188
受取賃貸料	9,914	13,301
保険解約返戻金	22,893	2,032
その他	12,637	11,299
営業外収益合計	68,581	50,741
営業外費用		
支払利息	1,828	1,230
賃貸収入原価	6,994	10,297
持分法による投資損失	61,740	53,899
その他	313	12,979
営業外費用合計	70,875	78,407
経常利益	1,034,925	1,194,836
特別利益		
固定資産売却益	—	836
投資有価証券売却益	—	1,700
特別利益合計	—	2,536
特別損失		
固定資産除却損	30,184	4,279
投資有価証券評価損	3,447	240
その他	2,129	—
特別損失合計	35,761	4,519
税金等調整前四半期純利益	999,164	1,192,853
法人税等	463,048	550,278
少数株主損益調整前四半期純利益	536,115	642,575
四半期純利益	536,115	642,575

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	536,115	642,575
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31,376	△699
為替換算調整勘定	6,520	80,354
その他の包括利益合計	△24,855	79,655
四半期包括利益	511,259	722,230
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	511,259	722,230
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	999,164	1,192,853
減価償却費	543,149	553,127
固定資産除却損	30,184	4,279
固定資産売却損益(△は益)	—	△836
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△1,700
投資有価証券評価損益(△は益)	3,447	240
貸倒引当金の増減額(△は減少)	271	607
退職給付引当金の増減額(△は減少)	910	139,123
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,461	33,747
販売促進引当金の増減額(△は減少)	66,228	71,981
受取利息及び受取配当金	△23,136	△24,108
支払利息	1,828	1,230
持分法による投資損益(△は益)	61,740	53,899
売上債権の増減額(△は増加)	△2,709,069	172,491
たな卸資産の増減額(△は増加)	△34,552	△95,140
仕入債務の増減額(△は減少)	479,852	390,085
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1,096	47,746
長期未払金の増減額(△は減少)	—	△4,680
未払金の増減額(△は減少)	△73,721	90,733
その他	△12,391	△317,878
小計	△669,653	2,307,802
利息及び配当金の受取額	22,835	24,084
利息の支払額	△1,828	△1,230
法人税等の支払額	△527,896	△113,730
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,176,541	2,216,925
投資活動によるキャッシュ・フロー		
貸付金の回収による収入	5,512	3,763
貸付けによる支出	△500	△193,734
定期預金の払戻による収入	536,000	400,000
定期預金の預入による支出	△312,032	△12,037
投資有価証券の売却による収入	—	4,065
投資有価証券の取得による支出	△4,321	△4,022
有価証券の償還による収入	400,000	150,000
有価証券の取得による支出	△699,800	—
関係会社株式の取得による支出	—	△60,532
有形固定資産の売却による収入	—	1,127
有形固定資産の取得による支出	△145,718	△401,833
無形固定資産の取得による支出	△54,962	△53,408
その他	40,204	△20,317
投資活動によるキャッシュ・フロー	△235,618	△186,930

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△4
配当金の支払額	△284,352	△246,647
自己株式の取得による支出	△1,188	△2,064
財務活動によるキャッシュ・フロー	△285,541	△248,715
現金及び現金同等物に係る換算差額	977	16,712
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,696,724	1,797,991
現金及び現金同等物の期首残高	6,071,374	3,711,023
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,374,650	5,509,015

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	食品事業		
売上高			
外部顧客に対する売上高	21,732,974	2,730,689	24,463,663
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	21,732,974	2,730,689	24,463,663
セグメント利益	1,198,863	59,253	1,258,117

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告宣伝事業、物流事業、人材派遣事業を集約しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,198,863
「その他」の区分の利益	59,253
全社費用(注)	△220,896
四半期連結損益計算書の営業利益	1,037,220

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	食品事業		
売上高			
外部顧客に対する売上高	22,389,643	2,904,311	25,293,955
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	22,389,643	2,904,311	25,293,955
セグメント利益	1,401,351	50,921	1,452,272

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告宣伝事業、物流事業、人材派遣事業を集約しております。

2. 「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（4）追加情報（表示方法の変更）」に記載のとおり、従来、「受取賃貸料」に対応する費用については、「売上原価」に含めて表示しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、営業外費用に「賃貸収入原価」として表示する方法に変更しております。

この結果、遡及処理を行う前と比べて、前第2四半期連結累計期間の食品事業のセグメント利益は、6,994千円増加しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,401,351
「その他」の区分の利益	50,921
全社費用（注）	△229,770
四半期連結損益計算書の営業利益	1,222,502

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。